

AM0-019 ストライプ1玉ポーチ

<2022S/S>

この作品はレシピ3枚です(3-1)



デザイン/ハマナカ企画

☆でき上がり寸法 幅約21cm、深さ約13.5cm、マチ約2.5cm

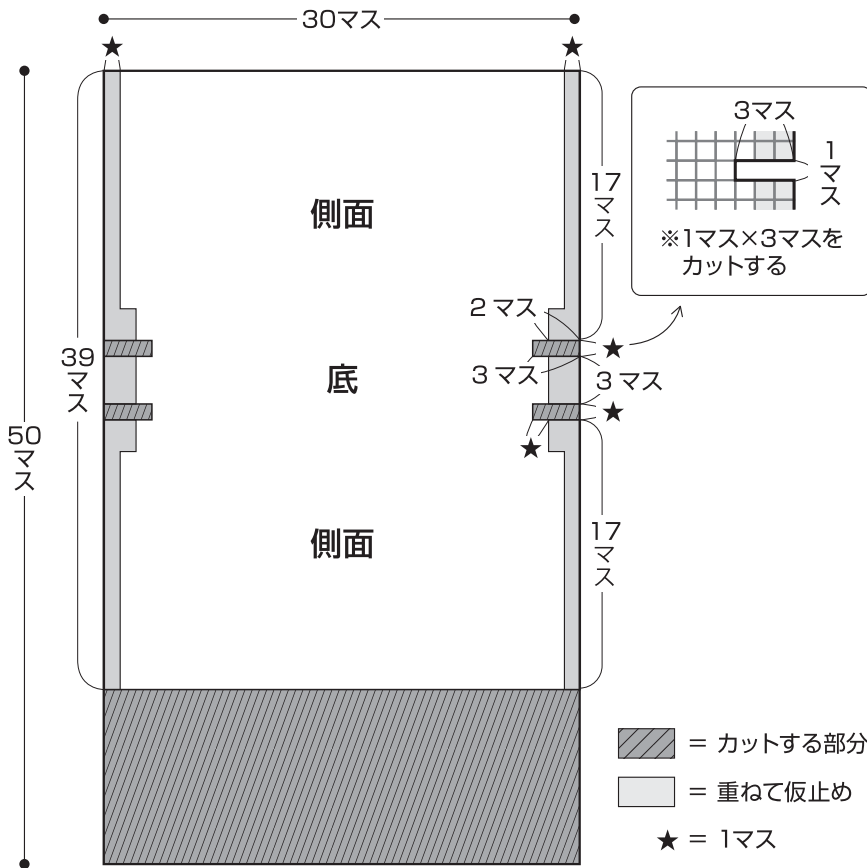
☆使用糸 チューブベリー(30m巻)
ゴールド(5)0.7玉

☆副資材 あみあみファインネット(H200-372-101)金…1/4枚

☆用意するもの クラフトハサミ(H420-001)、テープ手芸用両面テープ(H204-514)
ファスナー(20cm)ベージュ…1本
縫い糸、縫い針、マチ針、メジャー

1 ネットをカットし、組み立てます

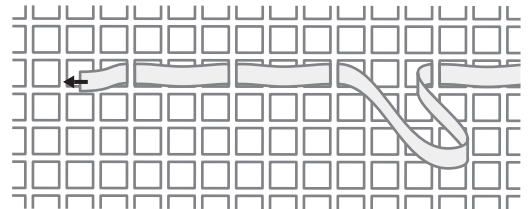
下図のようにネットをカットし、側面は両端を1マスずつ、底は側面と2マス重ねて別糸またはネット固定パーツで仮止めしておきます。



※図はネットを1/4にカットした状態です

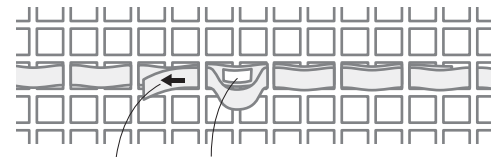
〈テープ手芸の基礎〉

ネットを2~3回拾ったら、テープをまっすぐ引きます。無理に引くとネットが切れる場合があります。
※ファインネット金・銀は繰り返し通すと、摩擦で表面の箔が剥がれることがありますのでご注意ください。

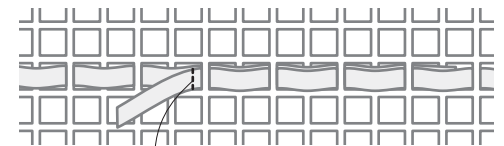


始末の仕方

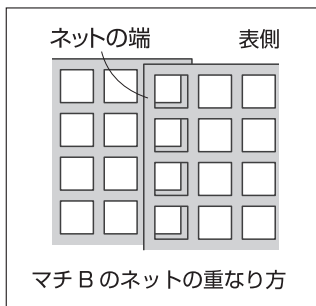
通し終わりは、5cm程度重ねて通し両面テープをつけ、根元でテープをカットします。



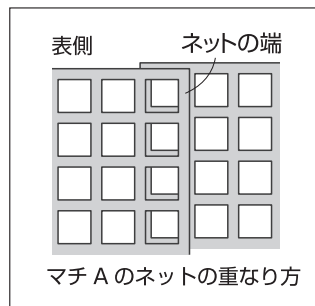
②テープを引く ①両面テープをつける



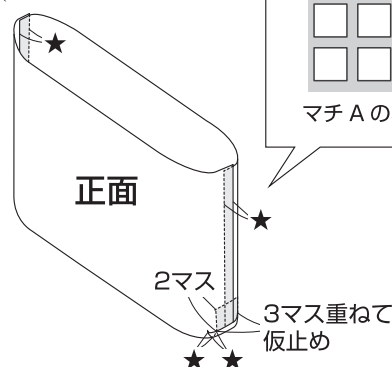
③カットする



マチ B のネットの重なり方



マチ A のネットの重なり方



余ったネットで作れる
ネット固定パーツをご紹介します!

2 テープをカットし、ネットに通します


AMO-019(3-2)

テープを指定の長さ・本数にカットします。
 テープ手芸の基礎(3-1)を参照しながら、側面→底→縁巻きの順に通します。
 縁巻きの端は、2~3cm重ねて両面テープでつめます。

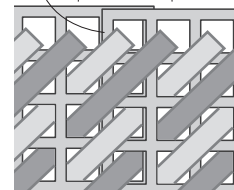
テープカット数

①	側面	30cm×58本
②	底	30cm×5本
③	縁巻き	80cm×1本

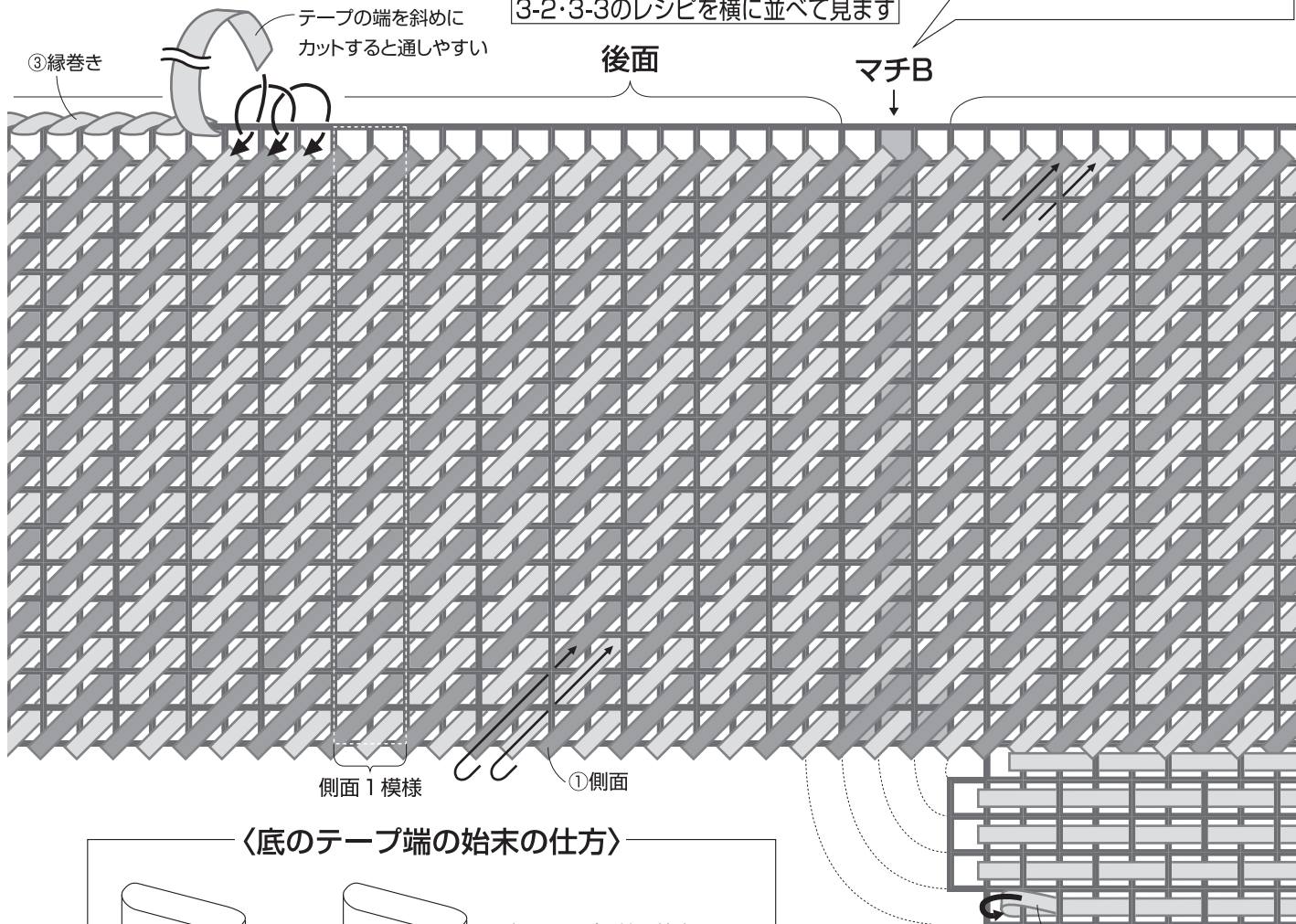
 = ゴールド

 = ネット重なり部分

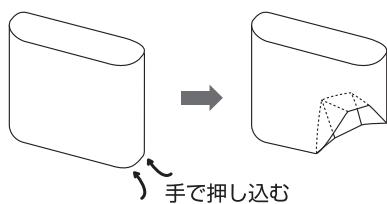
ネットの端が模様で隠れるように通す



3-2-3-3のレシピを横に並べて見ます



〈底のテープ端の始末の仕方〉



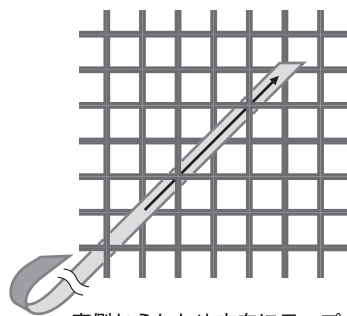
底のテープの端を始末するときは、ポーチの角を内側に押し出すと、作業がしやすくなります。

手で押し込む

底のテープの端は裏側に折り返して始末する

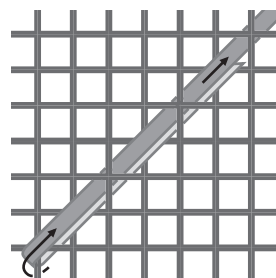
〈側面の模様〉

①



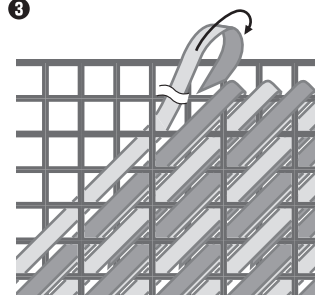
底側からななめ方向にテープを通します。2~3回通して始めに端を処理します。

②



反対側の端を上重ね、口まで続けて通します。

③



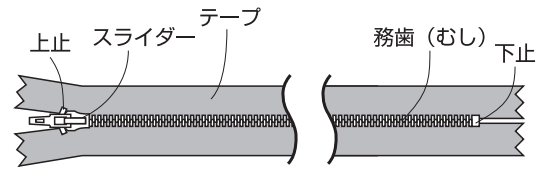
通し終わりは、テープを裏側に折り返して2~3回通し、両面テープで始末し、余分はカットします。

※チューブベリーの裏表はありません。通す部分がわかりやすいように一列ごとに色を変えています。

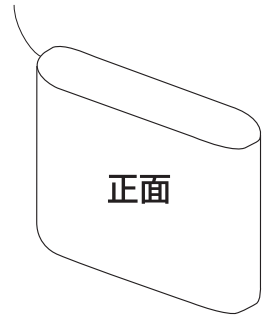
3 ファスナーをつけます

本体にファスナーを半返し縫いでつけます。

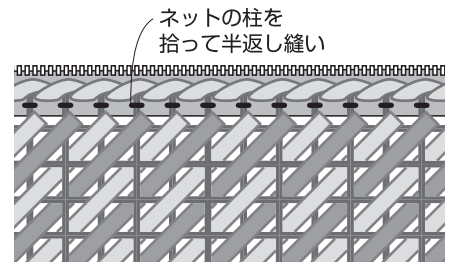
① スライダーを下げてもファスナーを開く



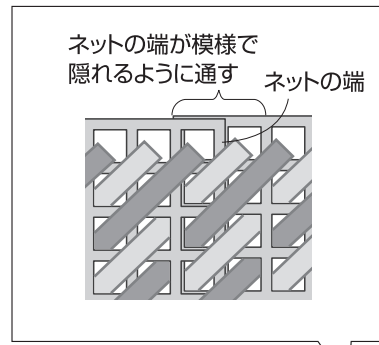
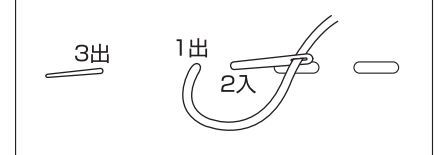
② 上止をマチ B の角に合わせてずれないように数ヶ所をマチ針でとめる



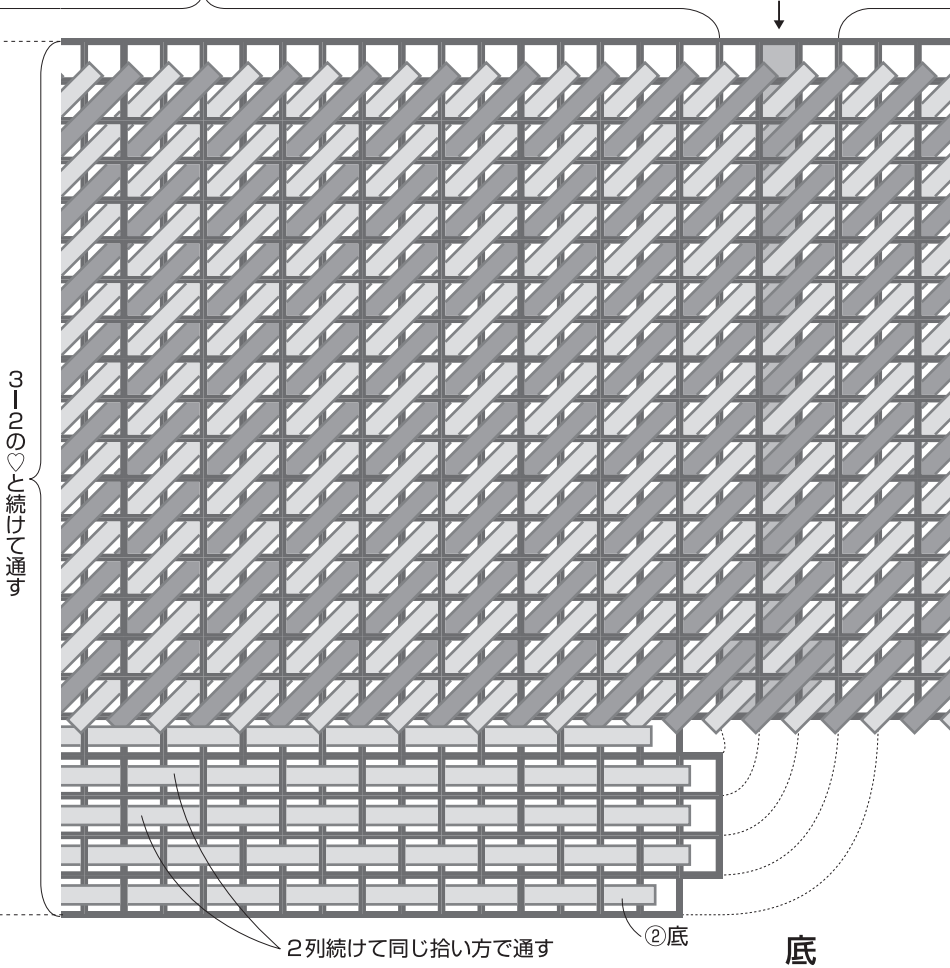
③ ファスナーを半返し縫いで縫い付ける
 入れ口側隙間のネットのみを拾う



半返し縫い



正面 3-2・3-3のレシピを横に並べて見ます マチA



3-2・3-3のレシピを横に並べて見ます

でき上がり図

